

比内中 学 区

1 はじめに

昨年度に引き続き、「『基礎学力の向上』『豊かな心の育成』『ふるさとキャリア教育の推進』の在り方を追究し、比内の子どもの生きる力を育成する。」というねらいのもと「意欲的に学び、豊かな心と確かな学力を身に付け、ふるさとに根ざす比内の子どもを育てる小・中連携はどうあればよいか。」というテーマで、小・中のよりよい連携の在り方を模索してきた。そして今年度は特に、比内地区の各小・中学校が一体となったより具体的な共通実践事項を掲げ活動し、9年間を見通した児童生徒の育成に取り組んだ。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
5月17日	連携研究会事前打ち合わせ会	11月19日	第2回小・中連携研究会
5月31日	第1回小・中連携研究会	1月 下旬	中学校体験入学 入学説明会

3 活動の実際

(1) 第1回小・中連携研究会（会場：比内中）

- ① 授業参観（全学級）
 - ② 中1生の状況報告（学習面や生活面について）
 - ③ 全体会（会場校校長あいさつ、事業計画説明、学校評議員及び会員紹介）
 - ④ 分科会（「基礎学力の向上」「豊かな心の育成」「ふるさとキャリア教育の推進」「事務部会」※今年度新たに事務部会を設け、比内地区の計画的・組織的な学校事務運営について協議を行い、教育活動の支援・充実につなげていくこととした。）
- この日は、比内中学校区の合同評議員会も併せて実施した。また今年度は、新たな試みとして事前打合会で話し合われた共通実践事項に基づき分科会を設定し、1回目の研究会では小・中共通で発達段階に応じて実践する具体的な内容や活動計画について協議し、2回目の研究会に向け実践を積み重ねることとした。

(2) 第2回小・中連携研究会（会場：扇田小）

- ① 授業参観（全学級）
 - ② 分科会（第1回目と同様のテーマ）
- 2回目の分科会では、1回目の話し合いを受け、テーマに基づき比内地区が一体となった実践や各校の実践について成果や課題を話し合い、取組について検証した。各分科会の取組の概要は以下のとおりである。
- ・第1分科会（基礎学力の向上）
「問いを発する子どもを育てる授業づくり」のための教室掲示を比内地区共通で作成し、「授業のねらいの具体化と適切な言語活動の位置付け」「子どもが問い、子どもが考える授業展開の工夫」「各自の課題解決の過程の共有化」を重点として取り組んできた。言語活動の充実に向けた取組、学習過程、基本的な学習の約束（話型）など、各校の取組のよさについて情報交換をし、学び合うことができた。
 - ・第2分科会（豊かな心の育成）
地区全体として、校外で場面に応じてあいさつできる子どもを育てる活動を中核としながら「比内あいさつキャッチフレーズ」作りとのぼり、ポスターの掲示を行い、児童・保護者への周知を図り、各校で工夫してあいさつ運動の取組を展開し、地域への発信をすることができた。また「家族ミーティング」の取組により、家庭と連携した生活習慣の見直しを図られてきており、よい傾向がうかがえた。
 - ・第3分科会（ふるさとキャリア教育）
各校とも独自の「地域に元気を届ける特色ある活動」について実践を積み重ねてきた。また、夏には小・中連携した地域ボランティア活動のひとつめとして合同クリーンアップを実施。今後も「比内ふるさと準備委員会」の取組を中心に小・中の連携できる内容について見直し、地域へ発信していくことを確認した。
- ③ 全体会（分科会報告、会場校校長あいさつ）
分科会後に全体会を行い、分科会報告を行うことで、全会員での共通理解を図った。



【小・中連携あいさつ運動】

4 おわりに

今年度は、前年度までの成果と課題を基に、2回の研究会の持ち方や分科会構成、共通実践事項について見直しを行い、1回目と2回目とが連動した研究となるようにした。すなわち、「比内の子どもの生きる力を育成する」というねらいに向かい、会員全員が一体感をもって、より主体的に共通実践事項に取り組むことができたことも大きな成果であった。今後は、実践項目を更に具体化したり、授業実践交流や情報交換をより充実させたりして、小・中や小・小、更には幼保・小の連携を強化し、次代を担う比内の子どもたちの力をはぐくんでいきたい。